

(別紙4(2))

事業所名 グループホームごんべえ

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者の重度化に伴い、災害時の移動手段、ケースごとの避難方法の確立が必要。地域との発災時の連携や協定を視野に入れた話し合いや訓練が課題。年二回の法定訓練や、備蓄品の確保を確実に進める。	年三回の法定避難訓練実施。全職員が訓練に参加し有事の動きに対応できる。備蓄品の確保。発災時における地域との連携や協定について話し合いや訓練ができる。	法定訓練は年三回実施。消防に指導を仰ぎ具体的な避難方法や手順の確立を行う。その他、炊き出し訓練を実施。夜間火災想定訓練は運営推進会議を利用し地域との連携や協定について協力体制を構築していく。随時、連絡網を回し、発災時の応援体制を検討する。	12ヶ月
2	52	共用空間の整理整頓ができておらず、散らかってしまう。常に清潔な生活空間が保てていない。	共用空間の物の定位置を決め、誰もが使いやすく清潔な環境を保つ。	物の定位置を決め、整理整頓や清潔が保てるルールや仕組みをつくり実行する。	6ヶ月
3	13	法人内外の研修は行われているが、研修内容のフィードバックが現場でいかされていない。離職があった。	キャリア段位制度の導入。キャリアパスの確立。離職を減らす。	キャリア段位制度、キャリアパスの導入をし、レベルに応じた研修を受ける。職員のできる見える化し、職員自らが目標を持って業務や研修に取り組むことができる仕組みをつくり、処遇改善にもつなげ、離職を減らしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。